HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	目次
Description	本研究は以下の研究助成の成果の一部である。「研究者資料の学術資源化に向けた資料整理法の提案 ： 実験物理学者・中谷宇吉郎資料を事例としたアーカイブズ学的実践」（サントリー文化財団研究助成「学問の未来を拓く」、2020年8月-2021年7月）
Relation	研究者資料の学術資源化に向けた資料整理法の提案 ： 実験物理学者・中谷宇吉郎資料を事例としたアーカイブズ学的実践 ： 最終報告書
Issue Date	2022-08-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/93006
Rights	CC BY-NC-ND 4.0
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/
Type	other
File Information	nakaya-report-2022_240622_type-a_contents.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

目次

プロローグ

▶ はじめに 07
佐藤崇範（琉球大学島嶼地域科学研究所）

I. 最終報告会――予稿とレポート

▶ 中谷宇吉郎の研究の現代的意義 11
古川義純（北海道大学名誉教授／中谷宇吉郎 雪の科学館）

▶ 中谷宇吉郎が遺した資料の「可能性」について 15
森田菜絵（中谷宇吉郎記念財団アドバイザー）

▶ 中谷宇吉郎アーカイブズ推進プロジェクトによる資料整理の進捗状況（中間報告） 19
佐藤崇範（琉球大学島嶼地域科学研究所）

▶ 科学者の個人資料に含まれる視覚的記録――霧研究の映画フィルムを巡って 23
山永尚美（学習院大学）

▶ 科学者資料を軸とした科学史研究と展示――物理学者・久保亮五の資料を事例として 27
河野洋人（国立科学博物館）

▶ 日本における物理学者資料の保存・整理の変遷――アーカイブズ学との関わりから 29
佐藤崇範（琉球大学島嶼地域科学研究所）

▶ 物理学記録を対象とした米国のアーカイブズ実践を辿る 33
――米国物理学協会による「ヒストリー・プログラム」の活動を手がかりに
齋藤歩（京都大学総合博物館）

▶ 最終報告会レポート――主催者側からみた雑感、質問者らによる参加記 37
齋藤歩（京都大学総合博物館）
藤吉圭二（追手門学院大学）
明貫紘子（映像ワークショップ）
菱木風花（一橋大学／国立科学博物館）

II. 成果 1――資料整理

▶ 助成研究による中谷宇吉郎博士の自邸所蔵資料の整理過程 43
佐藤崇範（琉球大学島嶼地域科学研究所）

III. 成果 2——調査研究

▶ 研究記録と視覚的記録の境界の探求——中谷宇吉郎の実験と映画 63
山永尚美（学習院大学）

▶ 「日本における物理学者資料の保存・整理の変遷——アーカイブズ学との関わりから」における関連情報収集の経緯 71
佐藤崇範（琉球大学島嶼地域科学研究所）

▶ 科学技術記録にアーキビストが関与するためのノート 75
——アーカイブズ学にみる JCAST の成果と役割
齋藤歩（京都大学総合博物館）

▶ 目録分析からアーカイブズの編成方針を読み解く——AIP の個人文書を対象とした試み 83
齋藤歩（京都大学総合博物館）
佐藤崇範（琉球大学島嶼地域科学研究所）
山永尚美（学習院大学）

エピローグ

▶ 中谷宇吉郎アーカイブズの今後の展望 89
中谷祐介（東京通信大学／中谷宇吉郎記念財団）

付録

▶ 研究者資料の整理法 93
——実験物理学者・中谷宇吉郎資料を事例としたアーカイブズ学的実践と研究
＊第 16 回 日本博物科学会 研究発表（2021 年 6 月 25 日）要旨
齋藤歩（京都大学総合博物館）
佐藤崇範（琉球大学島嶼地域科学研究所）
山永尚美（学習院大学）

▶ 物理学者資料を対象としたアーカイブズ整理における日米の変遷比較 94
——中谷宇吉郎資料を事例とした整理に向けて
＊2022 年度 日本アーカイブズ学会大会 自由論題研究発表（2022 年 4 月 24 日）予稿
佐藤崇範（琉球大学島嶼地域科学研究所）
齋藤歩（京都大学総合博物館）

–

▶ 追悼・入澤寿美先生 99
古川義純（北海道大学名誉教授／中谷宇吉郎 雪の科学館）